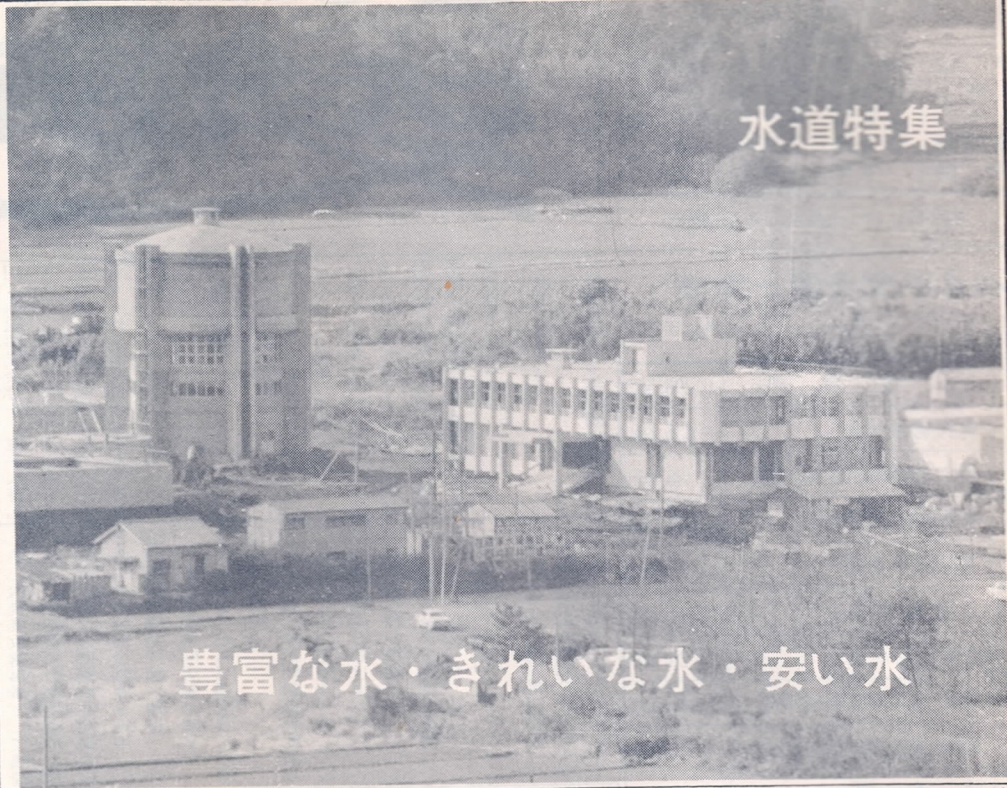


水道特集

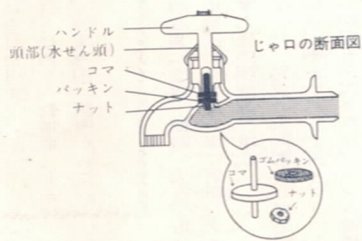


豊富な水・きれいな水・安い水

家庭でなおせる

じゃ口の水もれ

水道の故障のうち、じゃ口の漏れは家庭でも簡単になおせます。こので、一五ミリのじゃ口でも一ヶ月でな...



すすむ第三次水道拡張工事

三十九万人の給水を目標に
三十一億円・八カ年計画で

水需要の激増により、水不足をおこさないようにするため、ただ今第三次拡張工事に取り組んでいます。

荏隈浄水場一部完成

五月から給水を始めます

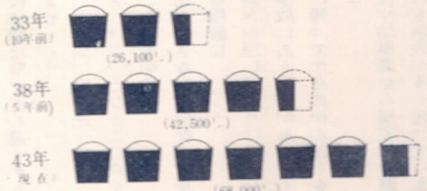
現在建設中の荏隈浄水場は、畑中浄水場の分岐上流一キロメートルの地点にあります。

新しく水道を引かれる方へ

次の点にご注意を

- ① 水道を引くときは、衛生上、構造上いろいろな設計施行の基準があります。
- ② 他人の土地を通りまたは他人所有の水道管から分岐して引込み工事をするときは関係者の同意が必要です。

給水量は伸びている!!



水道料金表

種別	基本		超過
	水量	料金	
一般	8	250	36
浴場	150	2,820	25
特別	1	52	—
共用	5	125	30

写真説明 (上から)
▶ 完成した荏隈浄水場全景 (城南団地から200m望遠で)
▶ 浄水場はこの管理室で動かされるがすべてオートメーションです。

人口・有収水量

総人口	給人口	普及率	年間総配水量	年間有収水量	有収率	11.18平均配水量	1日平均配水量
人	人	%	立方メートル	立方メートル	%	リットル	立方メートル
230,990	182,431	79.0	16,052,343	11,203,383	69.79	241	43.979
231,473	189,022	81.6	17,196,730	12,285,999	71.44	249	47.114
236,812	198,401	83.8	19,446,023	14,025,350	72.1	268	53.131
245,281	211,151	86.1	20,220,110	14,657,557	72.5	262	55.397

(注・43年度分は推定、ただし総人口、給水人口は44.2.1現在)



水道の台所は火の車

拡張工事は多額の資金が必要 それがほとんど借金です

急増する水の需要を満たすため、光吉や在限などの浄水場を新設したり配水管を延長したりする財源のうち、外部資金である企業債（千九百三十九万四千六百六十三円）の占める割合は年々増加しています。

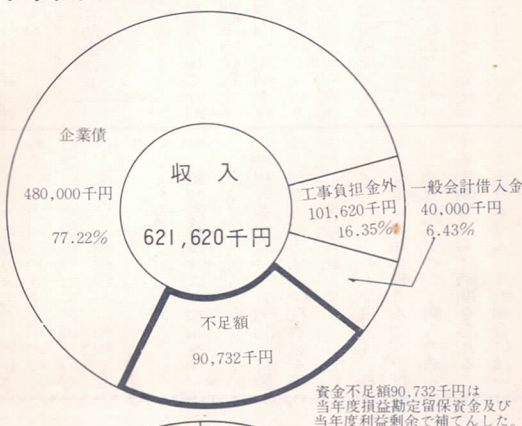
三十八年度に企業債の元利支払は二十五万四千円であったのが四十四年度では一億八千三百三十七万五千七百七十九円と、約七倍の伸びを示しています。

四十二年度に料金改定を行なったが、企業努力により四十三年度は若干黒字に好転することが予想されますが、施設の拡充にともない資本費が年々増大し、資金面で非常に苦しい状態が続いています。

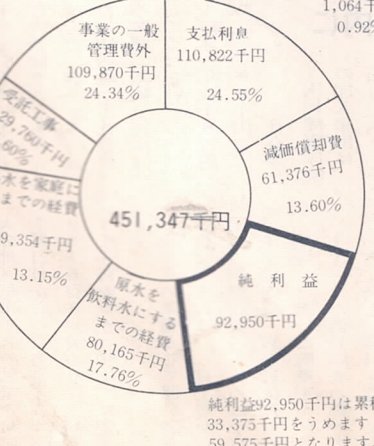
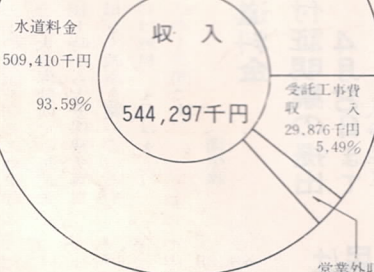
決算の終わっている四十二年度は、状況を昨年末水道局が発行した「水道白書」から見てみましょう。

43年度予算

投資的な収支



営業の収支



ひと口辞典

◆大分市に水道が創設されたのは昭和二年七月十日です。

◆全国の水道の配水管をつなぐと地球を三周します。

◆大分市の配水管の長さは約七百二十キロメートル。汽車で大分駅から京都駅までの距離です。

◆全国の水道普及率は十軒のうち七軒が水道を使っています。

◆大分市の場合、十軒のうち八軒以上の普及率です。

◆十円で買える水の量は一・八リットル（二升びん約百七十八本分）となります。

水道施設案内

光吉浄水場から

鶴崎の2/3・植田の1/2を給水中

松岡・畑中は近く廃止

所在地 大字光吉
竣工 昭和四十二年三月
配水能力 五万立方メートル
給水区域 大分、鶴崎、東植田の各地区

所在地 大字松岡
竣工 昭和三十五年十二月
配水能力 千三百立方メートル
給水区域 鶴崎

所在地 大字畑中
竣工 昭和二年七月
配水能力 一万八千立方メートル
給水区域 大分地区

鶴崎地区には二分の一に相当する水量を送っています。

松岡地区には二分の一に相当する水量を送っています。

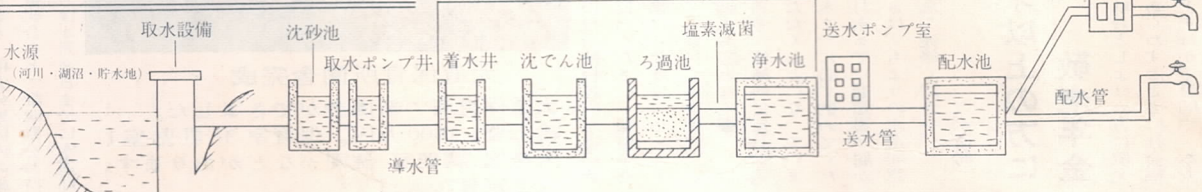
畑中地区には二分の一に相当する水量を送っています。

鶴崎地区には二分の一に相当する水量を送っています。

松岡地区には二分の一に相当する水量を送っています。

畑中地区には二分の一に相当する水量を送っています。

水道の水が家庭にとどくまで



水道の水はつくられる きれいな水ができるまで

水源
地下水：簡易水道、専用水道ではこれを利用しているものが多いです。しかし、量に限りがあります。表流水：川の水や湖の水をいいます。表流水を使うためには水質が重要です。大きな浄水場はほとんどこれです。ダム：多量の水を必要とする大都会やまた川では十分な水が供給できないところは、山奥や河口にダムをつくらします。

取水設備と導水管
水は取水塔や取水門でとり入れられます。つぎに導水管で浄水場に運ばれます。この水を原水と呼び、まだ飲めません。

浄水場
沈んで池：水の汚れがひどい時は薬品を入れてかきまぜ、それからゆるやかに流し、水の中の浮遊物を沈んでいきます。ろ過池：ろ過池では下から玉石、砂利、粗砂、細砂（ろ過砂）の順に敷きつめられています。この砂層を通りぬけた水は、見違えるほどきれいになります。

消毒
消毒：仕上げの段階です。微量の塩素を入れて、病原菌を殺すようにします。これで安全な水になります。水がわずかににおうことがあります。これは安全のしるしです。

配水管
水道の水はきれいなだけでは十分ではありません。じゃ口から豊富にいきおいよく出るようにしなければなりません。このため配水池は高い所に作ったり、増圧ポンプをつけたります。

給水管とじゃ口
水圧を調節された水は長い配水管をとって、家庭に配ばれます。配水管を通じてきた水は給水管にわかれて敷地に入りじゃ口につながります。

写真＝現在大分市最大の光吉浄水場

給水

区分	年度
	40
	41
	42
	43

